



YouTube でネット中継配信中

二戸市議会 ネット中継



信頼される議会づくりへ

への 市議会だより

12月定例会 — CONTENTS —

議長就任のごあいさつ、お詫び	2
定例会の概要、主な議案の内容	3
主な質疑応答	4
審議結果、賛否の公表	6
一般質問	7

58号

令和3年
2月15日発行



12月
定例会

令和2年度補正予算など全24議案を可決

一般会計は4億2474万円を追加

主な議案の内容

二戸市税条例の一部を改正する条例 可決
地方税法施行令の一部を改正する政令の公布に伴い、国民健康保険税の減額の対象となる所得の基準が見直されたことから、所要の改正をしようとするものです。

二戸市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例 可決
道路占用料に係る債権の適正な管理を行うため、所要の改正をしようとするものです。

改正の内容 延滞金の割合と特例について定めるものです。

二戸市債権管理条例 可決
市の債権の管理の適正化を図り、公正かつ公平な市民負担の確保及び円滑な行政運営に資するため、必要な事項を定めようとするものです。

二戸市役所出張所設置条例の一部を改正する条例 可決
御返地出張所で行っていた業務の一部を令和3年6月1日から日本郵便御返地郵便局に委託し、令和3年5月31日をもって御返地出張所を廃止することから、所要の改正をしようとするものです。

改正の内容 二戸市役所御返地出張所を廃止しようとするものです。

条例

議長就任のごあいさつ

市民の皆さまには、平素から市議会に対し深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

令和2年11月30日に開催された市議会臨時会において、議員各位のご推挙により議長に就任することとなりました。議会を代表する議長として、その責務の重大さに身の引き締まる思いであるとともに、これまで市議会議員として27年間市民の皆さまに支えて頂いたことに厚く御礼申し上げます。



議長 米田 誠

私は、この度の議長選出にあたり、二戸市政のさらなる発展はもとより、市民の皆さまには、平素から市議会に対し深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

今後は、市民の皆さまの声を真摯に受け止め、議員が一致団結し誠心誠意その使命と責任を果たすべく全力を注いでまいります。市民の皆さまには、今後とも市議会へのご理解と市政に対するご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。ご挨拶いたします。



令和2年12月定例会の様子

令和2年11月30日に開催された臨時会において議長選挙が行われた結果、新議長には米田 誠 議員が就任しました。議長選挙の得票数やその他の選挙結果の詳細については、12ページをご覧ください。

市民の皆さまへ 〈お詫び〉

この度、本市議会前議長が、「青森県青少年健全育成条例違反」及び岩手県の「青少年のための環境浄化に関する条例違反」により起訴されたことにつきましては、市民の皆さまに多大なるご迷惑をおかけし深くお詫び申し上げます。市民を代表すべき市議会議長が起訴されたことは、市民の皆さまの信頼を大きく裏切り、二戸市の名誉を傷つけるものであり断じて許されるものではありません。

今後は、市議会議員一同改めて襟を正し、議員としての社会的・道義的責任を重く受けとめ、全議員一丸となり信頼回復に全力を尽くして参ります。

二戸市議会議長 米田 誠

議決

公の施設の指定管理者の指定について

各施設について、指定管理者を指定しようとするものです。指定管理者の詳細は審議結果(6ページ)をご覧ください。

財産

財産(教育用機器)の取得について

学校教育用タブレット端末等を買入れしようとするものです。

取得する財産 児童生徒及び教職員用タブレット端末等 一式

取得価格 1億728万円

契約の相手方 エクナ株式会社

補正予算

令和2年度一般会計補正予算(第9号)

補正額 3億3572万円

【主な内容(歳出)】 公共土木施設災害復旧事業費 2億5300万円

大萩野地区の地滑り災害復旧に係る工事請負費

令和2年度一般会計補正予算(第10号)

補正額 8901万円

【主な内容(歳出)】 公共施設管理維持体制持続化事業費 4070万円

コロナの影響により、収入が減少している指定管理者への支援金

持続化支援給付金 4800万円

コロナで大きな影響を受けている事業者に対する給付金

GIGAスクール推進事業 1535万円

学習用ドリルソフトに係る購入費

人事案件

教育委員会の委員の任命について

次の委員の任命について、同意しました。

【教育委員】 二戸市金田一 槻館 行男氏

固定資産評価審査委員会の委員の選任について

次の委員の選任について、同意しました。

【固定資産評価審査委員】 九戸郡九戸村 下斗米 光昭氏

二戸市堀野 菅原 亮氏

二戸市金田一 高橋 英司氏

本会議での質疑応答

出張所設置条例の一部を改正する条例

地元意見は郵便局で存続が担保できれば賛成とのことだが、意向聴取の経過は。

御返地地区(安比、大築平、福田、足沢、山田)の各方面へお声がけし、説明会を行った。その中で全地区からそういった意見が出されている。

二戸市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について

現状より削減する業務が5点(戸籍届出、住民異動届出、印鑑登録申請、埋火葬許可に関する申請受付・許可書の交付、身分証明書の交付)あるが、削減する理由は。

これらの業務は法令で行政が必ず行うものか。

今回の給付金は、感染症の長期化で影響が危惧される事業者支援になるので、国の持続化給付金をもらった方も対象にする考えでいる。

郵便局の職員が業務を行うが、個人情報の保護は大丈夫か。

郵便局の職員についても、個人情報扱について法律に定めがある。また、全国で583箇所の実績があり、大きな事件も起きていないので大丈夫と考えている。

2年度国民健康保険特別会計補正予算(第8号)

診療所職員に対する慰労金は医師・看護師に限定ではなく、診療所勤務の職員全体に対するものか。

答 そのとおりである。

2年度一般会計補正予算(第10号)

以前にも国の持続化給付金があったが、前にその給付を受けた事業者は今回対象となるのか。



「1人1台端末」多様な意見に触れたり、共有しながら進める新たな形の協働学習への期待

総務

常任委員会

二戸市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について

御返地出張所の建物の今後についての検討は。

農林課所管の集会所に指定管理をお願いしている。老朽化が著しい施設となっているので、建て替えの時期となっていると認識している。特に御返地地区の避難所に指定されているが、避難所としては不安定な施設になっているので後期計画の中で建て替えについて検討することを考えている。

二戸市防災行政無線(同報系)デジタル化更新工事の変更請負契約の締結について

二戸市防災行政無線(同報系)デジタル化更新工事の変更請負契約の締結について

現在のアナログの戸

文教福祉

常任委員会

2年度一般会計補正予算(第9号)

民生費寄附金

寄附金積み立て後の残高と主な使い道は。

ふるさと納税による民生費寄附金215万6千円を積み立てすると4654万9315円となる見込みである。主な使い道は敬老会のほか外出支援サービス事業、サーフティネット事業など高齢者福祉の事業に充当している。令和元年度の取り崩し額は、2464万1千円となっている。

2年度一般会計補正予算(第9号)

ふるさと納税

昨年年度は焼き鳥の注文件数が爆発的に多かったが返礼品の金額は大きくならなかった。今年度は漆関連の報道が多く、漆器類の注文が多くなっており、生産が追いつかない状況になっている。

産業建設

常任委員会

公の施設の指定管理者の指定について

稲庭交流センター

「天台の湯」・「かつら庵」

現在の指定管理者に対する評価とかつら庵の利用促進は。

管理は適切に守られているが、利用者減と収支の悪化がみられるので、取り組み方法の工夫やイベント企画により利用促進を図る。かつら庵の利用促進も、日本遺産の関係や天台寺など、食の提供では需要があるので、エリアの振興を含めて検討する。

2年度一般会計補正予算(第9号)

浄法寺漆産業振興基金積立金

基金残高と活用は。

残高7702万5千円になり、人材育成や

植栽事業などソフト事業を中心に活用する。植栽事業は国有林野を活用するため、森林事務所と協定を結ぶ。荒廃林整備等にも活用したい。

公共土木施設災害復旧工事

大萩野集落手前の法面の崩壊について、年明け後に工事に着手し、令和4年3月に完成予定。通行止めは行わず、片側通行とし、地元住民へは回覧板対応や町内会への説明を行い進めていきたい。



児童らによる漆の植栽の様子



返礼品の浄法寺漆器



二戸市ふるさと納税パンフレット(表紙)

一般質問

市政を問う！

7人の議員が一般質問

一般質問は、議員が市政全般にわたり事業の執行状況や考え方などを執行機関に質問するものです。
本定例会では7人の議員が、下記の項目について質問に立ちました。

沼井 賢壮 議員 P 7

1. 二戸市人口減少問題について～サテライトオフィスの誘致と子育て支援～

内沢 真申 議員 P 8

1. 公民連携まち再生事業九戸城跡周辺の構想について

田口 一男 議員 P 8

1. 立地を生かした水道事業について
2. 漆掻き無形遺産登録後の取り組みについて

國分 敏彦 議員 P 9

1. 地域商品券の発行を
2. 観光施策について
3. 市内小中学校について

畠中 泰子 議員 P 10

1. 新型コロナウイルス対策について
2. 県立福岡工業高校の存続と地元2高校魅力化の取り組みについて
3. 二戸地区特別支援学校開校について

駒木 昇 議員 P 10

1. 高齢者運転事故をどう防ぐか

岩崎 敬郎 議員 P 11

1. まちづくりについて その7
 - ① 二戸市総合計画後期計画について
 - ② 発達障がい児の幼児期における公的施設について
 - ③ 県境産廃不法投棄現場の今後の活用について



沼井 賢壮 議員

サテライトオフィスの誘致は

現状を捉えながら実践するかを検討

問 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、地方移住や企業がサテライトオフィスを設ける機運が高まっているが、二戸市はサテライトオフィスの誘致に動いているか。

答 市長 現状、市として積極的な誘致は行っていない。市の基本的考え方では、企業の誘致が難しく、労働者も減少している現状から、地元企業の事業展開を基本としながら産業振興を図っている。今後

においても、全国的な動向や地域内の現状を踏まえ、地域産業の持続発展・若者の定住促進・労働者の確保につながる取り組みを進めていく。サテライトオフィスの誘致については、企業のニーズや施設をどの様に確保するかなど、現状を捉えながら実践するかどうかを検討する。

問 2045年人口2万人維持の目標に対しての現在の評価は。

答 市長 本市の人口は年間約500人減少しており、また、転出者の約3割が18歳から24歳までの若い方々である現状から、まだまだ目標の達成には届いておらずより一層の努力が必要だと考えている。達成率は現時点で98・4%と捉えている。

問 子育て支援において、2万人維持の目標に対しての現在の評価は。児童医療費助成の所得制限撤廃の考えは。

答 市長 第2期二戸市子ども・子育て支援事業計画では、「子どもも親も共に成長し地域みんなを支えあう安心と喜びを感じる子育てのまち」を基本理念に、地域全体が子育てを応援し支援していく体制づくりに、全ての子供が健やかに育つことができる環境づくりを総合的に進めている。本市の財政状況が厳しさを増す中、子供の医療費助成の所得制限撤廃には新たに年間1700万円程の財源の確保が必要。保健福祉分野等においても、これから推進しなければならない施策も多いことから、医療費助成の拡充を含む子育て支援全般について総合的な検討が必要と認識している。



テレビ会議システムも使用可能な貸出用サテライトオフィス（なにかーと3階）

審議結果

議案番号等	議案名等	審議結果
議案	1 二戸市債権管理条例	可決（全員賛成）
	2 租税特別措置法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	可決（全員賛成）
	3 二戸市役所出張所設置条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
	4 二戸市税条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
	5 二戸市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
	6 公の施設の指定管理者の指定について（海上ふるさと交流館）	可決（全員賛成）
	7 公の施設の指定管理者の指定について（二戸市生きいき交流センター）	可決（全員賛成）
	8 公の施設の指定管理者の指定について（二戸市デイサービスセンター・二戸市生きがい総合センター）	可決（全員賛成）
	9 公の施設の指定管理者の指定について（二戸市農村労働福祉センター）	可決（全員賛成）
	10 公の施設の指定管理者の指定について（二戸市勤労者総合福祉センター）	可決（全員賛成）
	11 公の施設の指定管理者の指定について（二戸市老人福祉センター・二戸市高齢者生きがい活動センター）	可決（全員賛成）
	12 公の施設の指定管理者の指定について（二戸市産地形成促進施設「キッチンガーデン」）	可決（全員賛成）
	13 公の施設の指定管理者の指定について（二戸市稲庭交流センター「天台の湯」・「かつら庵」）	可決（全員賛成）
	14 二戸市特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	可決（全員賛成）
	15 二戸市防災行政無線（同報系）デジタル化更新工事の変更請負契約の締結について	可決（全員賛成）
	16 令和2年度二戸市一般会計補正予算（第9号）	可決（全員賛成）
	17 令和2年度二戸市国民健康保険特別会計補正予算（第8号）	可決（全員賛成）
	18 令和2年度二戸市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全員賛成）
	19 教育委員会の委員の任命について	同意（全員賛成）
	20 固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意（全員賛成）
	21 固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意（全員賛成）
	22 固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意（全員賛成）
	23 財産（教育用機器）の取得について	可決（全員賛成）
	24 令和2年度二戸市一般会計補正予算（第10号）	可決（全員賛成）
報告	1 専決処分の報告について 公用車両の事故に伴う損害賠償	報告

各施設ごとの指定管理者

議案番号	施設名	指定管理者名
議案	6 海上ふるさと交流館	上海上自治会
	7 二戸市生きいき交流センター	堀野町内会
	8 二戸市デイサービスセンター・二戸市生きがい総合センター	社会福祉法人二戸市社会福祉協議会
	9 二戸市農村労働福祉センター	二戸市商工会
	10 二戸市勤労者総合福祉センター	公益社団法人二戸市シルバー人材センター
	11 二戸市老人福祉センター・二戸市高齢者生きがい活動センター	社会福祉法人二戸市社会福祉協議会
	12 二戸市産地形成促進施設「キッチンガーデン」	キッチンガーデン利用組合
	13 二戸市稲庭交流センター「天台の湯」・「かつら庵」	二戸市ふるさと振興株式会社

賛否の公表 12月定例会の採決で賛否が分かれた案件はありませんでした。

討論



議案第1号 二戸市債権管理条例

賛成 畠中 泰子 議員

今回の条例案について、最大の眼目は生活困窮者の債務をどう扱い、解決に向けるのかと受け止めた。毎回、決算議会で20年近い滞

納などがあり、その背景は生活困窮ということで、例えば生活保護を受給している世帯であっても、過去の債務を求められる状況などは解消されると考えている。今回、私は生活再建を図るとした市の考え方を強く支持するものであります。この債権管理条例を制定すると同時に、自治体としてできるだけ市民の債務とならないような政策展開を求めて、本条例制定に賛成する。



内沢 真申 議員

問 九戸城跡周辺において公民連携の手法を活用できるのか。連携する民間の企業や団体等が考えられるか。

答 市長 県工事による岩谷橋の架け替えが進められ、国の補助を受けて、九戸城跡の第2期整備工事が進められている。そのような動きと連動させ、裁判所通りの道路整備や歴史民俗資料館の移転なども想定し、整備費の確保を検討していかねばならぬ。

九戸城跡周辺における公民連携の手法はまちづくりの体系的な計画を検討

いと考えている。エリアを鳥瞰的に捉え、二戸駅を起点として九戸城跡を中心に、田中館愛橋博士や相馬大作のゆかりのある古い町並みと新しいまちを周遊できるような人の流れをつくっていく必要があると感じている。市内の若い方々を中心にまちづくりワークショップを開催しながら、公民連携や地域づくりの視点で、アイデアや意見などの取りまとめを始めており、ソフト的な仕掛けや稼げる仕

組みを構築することも含め、公民連携によるまちづくりのスキームを検討していく。
問 新たな歴史民俗資料館を九戸城跡周辺に集約するという点についてはいかがか。

答 市長 平成30年に策定した二戸市公民連携基本計画の九戸城跡周辺において、歴史民俗資料館の移転と連動したまちづくりの構想が示されており、九戸城跡ガイダンス施設整備と併せて、集約化、複合化

を図ることを検討している。平成30年に策定した史跡九戸城跡第2次整備基本計画において、展示及び研修機能を併せ持つ施設整備の方針が示された。この方針において、盛岡地方裁判所二戸支部用地を候補地として

いるが、裁判所の移転が大前提となることから、現在裁判所と移転に向けた協議を行っている。
問 九戸城御城印の販売実績は。

答 市長 令和元年度は1456枚、今年度は11月までに996枚販売されている。コロナ禍の中で4月から6月の販売は大きく落ち込んでいたが、当初の7か所に盛岡城、花巻城、七戸城、浪岡城の4か所が加わった8月以降は回復傾向となっている。



九戸城の御城印



田口 一男 議員

問 浄法寺地区上水道の高曲原中腹の水源には必要水量を十分確保しており、浄法寺地区から御返地区への給水は可能との

立地を生かした水道事業を計画的修繕や補修で長寿命化を図る

んでも、差引き390万円のコスト増が30年間続く見込みとなる。また福田橋、青海橋への添架許可や水管橋の築造、加圧ポンプの設

漆掻き無形文化遺産登録
問 登録にふさわしい漆の伝承施設や情報を新たに発信する構想は。

6月に日本遺産に登録された「奥南部」漆物語と安比川流域に受け継がれる伝統技術」で歴史遺産の魅力

に感じる体験などで、引き続き情報の発信に努める。必要な漆原木を確保するため、個人所有の遊休農地を借用し、植栽を進めている。漆掻き職人の育成や漆原木の確保の対策を進め、目標とする2トンの漆生産を達成したい。

※ 令和2年12月17日ユネスコ無形文化遺産登録決定。

事だが、公共の福祉の増進と長期に渡る経済性を生かした水源の利用は。
答 市長 水道管の連結工事は最低でも1億7千万円となり、起債返済額で680万円のコスト増の一方、既存施設の運転コスト360万円のうち290万円の削減額を見込

置等工事費用の増加や、将来の給水人口なども考える。と接続は難しい。
答 市長 御返地区簡易水道の更新時期は、取水ポンプが2035年、浄水場本体や配水池で2055年が更新目安だが、計画的に修繕や補修を行い、長寿命化を図りたい。

答 市長 11月17日に文化庁からユネスコより登録勧告があった旨、公表された。日本漆掻き技術保存会の選定保存技術漆掻き技術も含まれ、政府間委員会で最終決定となるもの。(※) 新たな伝承施設や漆の情報については、

施設を活用した受け入れ態勢を検討する。植栽では、現在9つの企業・団体と漆の林づくりパートナー協定を締結、漆林の拡大につなげている。さらに、昨年度より市有林や国有林野を活用した「漆つるわしの森」を造成し、植樹祭を実施している。市全体に漆の輪を広げ、世界に誇る漆を身近



ユネスコ無形文化遺産登録記者会見の様子



國分 敏彦 議員

問 店舗等事業者支援の今後の予定はどのようになっているのか。

答 市長 飲食店向けの事業については、4月からおうちでのへごはんを商工会と連携して実施し、市内の飲食店や利用者にも定着してきていると感じている。11月から、いわてまんぷくイートチケットが始まっており、現在約4千冊が販売され、約2千万円の経済効果があると捉えている。また二戸市

店舗等事業者支援の今後の予定は関係機関と情報共有や連携を図り支援

関係機関と情報共有や連携を図り支援

商工会で、市の補助金を活用し、のへ呑喰スタンプラリーを12月1日から3月22日まで実施しており、飲食店70店舗が参加している。まんぷくチケットを使用しながら飲食店を利用していただければと考えている。様々な関係機関と情報共有や連携を図りながら、引き続き事業者支援に努める。

答 市長 来年度については、地方創生推進交付金を活用して3年間重点的に取り組んだ事業が終了するので、これまで築いたネットワークを生かし、民間事業者や関係団体の皆様と協力して、情報発信や受入れなどを自走できる体制をつくることと、本年

から動き出した日本遺産事業との連携を盛り込みながら、引き続き魅力ある観光地づくりに取り組んでいく。



プレゼントが当たるキャンペーンを開催中

問 来年も観光事業に対して委託を行うのか。

答 市長 近年急速に発展を遂げているIT

問 VR、ゴーグル活用による九戸城への呼び込みについてはいかがか。

技術の仮想現実や拡張現実などへの注目度が増し、文化財や観光へ活用する動きが活発化している。九戸城においては、岩手県立大学ソフトウェア情報学部のバーチャルリアリティを活用した九戸城跡の可視化に関する研究により、九戸城を再現する映像が試作されており、VR技術を使った新たな観光体験を創造するものであることから、今後これらの有効的な活用について検討を行う。観光資源としての情報発信など、総合的に九戸城跡の魅力を高めることで、来場者へのアピールになるものと考えている。



畠中 泰子 議員

コロナ感染から市民を守る対策は

感染防止対策や事業者支援を総合的に検討

問 新型コロナウイルス感染症が急増し危機的な状況である。医療機関、介護・福祉施設等での社会的検査や市内事業者への給付型支援の再給付、一層の感染防止対策、育英資金・就学援助の拡充、一人親世帯支援等が必要では。

答 市長 社会的検査は極めて困難である。症状がある方を最優先でPCR検査等の医療的検査を行う体制を確保することが肝要と考えている。必要な

問 感染防止対策や事業者支援など総合的に検討していく。ひとり親世帯への支援は国の動向を注視していく。

答 教育長 育英資金や就学援助制度も基本的には現制度で運営しつつ、新型コロナウイルス感染症の影響に配慮した運用方法で対応を行なっていく。

問 福岡工業高校存続と地元2高校魅力化

答 市長 福工が単独校として存続することは、専門的な学習環境の充実につながり、生徒が見据える将来ビジョンに向けて、各高校の特色を生かし、魅力を高めるための方策を開発し、関係者と協議していく。

問 特別支援学校開校

答 教育長 今後の取り組みは、インクルーシブ教育

問 高校対策部署を設け

答 教育長 統合案は専門的な技術・知識を持った教員の減少や専門分野の授業時数の減等、専門

感染防止対策や事業者支援など総合的に検討していく。ひとり親世帯への支援は国の動向を注視していく。

問 福岡工業高校存続と地元2高校魅力化

答 市長 福工が単独校として存続することは、専門的な学習環境の充実につながり、生徒が見据える将来ビジョンに向けて、各高校の特色を生かし、魅力を高めるための方策を開発し、関係者と協議していく。

問 特別支援学校開校

答 教育長 今後の取り組みは、インクルーシブ教育

問 高校対策部署を設け

答 教育長 統合案は専門的な技術・知識を持った教員の減少や専門分野の授業時数の減等、専門

高校としての魅力が大きく損なわれることを懸念する。中学卒業生の多様な進路選択の希望に応え、十分な学びの場を保障するため、単独での存続となるよう地元関係者と協議していく。

問 今後の取り組みは、インクルーシブ教育

答 教育長 今後、県から新設校設置に対し

問 用地取得等に係る様々な要

答 教育長 今後、県から新設校設置に対し

高校としての魅力が大きく損なわれることを懸念する。中学卒業生の多様な進路選択の希望に応え、十分な学びの場を保障するため、単独での存続となるよう地元関係者と協議していく。

問 今後の取り組みは、インクルーシブ教育

答 教育長 今後、県から新設校設置に対し

問 用地取得等に係る様々な要

答 教育長 今後、県から新設校設置に対し

請があれば協力する。設置まで8年間の長期スケジュールであり、推移を注視していく。現在、同じ校舎で学ぶメリットを活かし、成果をあげている。インクルーシブ教育はこれからも全ての学校で推進すべきこととなっており、積極的に取り組んでいきたい。

改築工事中の福岡工業高校の様子

問 高齢者の運転事故をどう防ぐか。サポカー補助についての見解は。

答 市長 本市において、令和2年10月末現在



駒木 昇 議員

サポカー補助についての見解は

動向を注視しながら継続検討

が、同程度の場合には人身

損傷程度が軽い者をいう、

加害者、原因者となった

事故件数は、平成28年が10

件、29年が4件、30年が7件、

令和元年が3件、今年にお

いては9月末で2件と年

よってばらつきがあるが

事故が発生している。

サポカーとは、自動ブレーキなどの安全装置品を搭載した安全運転を支援してくれる車のことである。サポカー補助制度は令和元年

度から事業化されており、

が、同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいう、加害者、原因者となった事故件数は、平成28年が10件、29年が4件、30年が7件、令和元年が3件、今年において

は9月末で2件と年よってばらつきがあるが事故が発生している。

サポカーとは、自動ブレーキなどの安全装置品を搭載した安全運転を支援してくれる車のことである。サポカー補助制度は令和元年

度から事業化されており、

ら10万円を国から補助する

制度である。サポカー補助

制度の自己負担分に対する

補助については、現時点で

八幡平市と北上市がそれぞれ独自の補助を行っている。

八幡平市は、令和元年度から令和3年度までの予定で

補助を行っており、国の補助を受けない市民を対象に

ら10万円を国から補助する

制度である。サポカー補助

制度の自己負担分に対する

補助については、現時点で

八幡平市と北上市がそれぞれ独自の補助を行っている。

八幡平市は、令和元年度から令和3年度までの予定で

補助を行っており、国の補助を受けない市民を対象に

ら10万円を国から補助する

制度である。サポカー補助

制度の自己負担分に対する

補助については、現時点で

交付実績があったことと。また、北上市においては令和4年度までの予定で国の補助を受けない市民を対象にしているとのことである。

が、現時点では申請はないとのこと。本市においても、国及び県内各市町村の動向を注視しながら、継続検討していく。

市公用車への踏み間違い防止装置取付けの検討については、県内で岩泉町が装置の周知を図るため公用車に試験的な導入をしてお

るが、現時点では申請はないとのこと。本市においても、国及び県内各市町村の動向を注視しながら、継続検討していく。



サポカー試乗会での体験の様子



岩崎 敬郎 議員

市総合計画後期計画における主眼は

基本構想に新たな4つの視点を追加

問 二戸市総合計画後期計画においては何を主眼として、どのような財政計画で推進するのか。

答 市長 総合計画の基本構想維持を前提とした上で、新しい生活様式への対応、持続可能でより良い社会の実現を目指す世界共通の開発目標、SDGsを見据えた事業の展開

国が提唱する情報社会の未来形、Society5.0を背景にしたデジタル化やICTの

推進、そして地方交付税の

減少見込みを踏まえた持続可能な行財政運営という4つの新たな視点を加えることとした。11月25日から12月1日まで市民ワークショップを開催し、将来のまちづくりの方向性について意見交換を行った。今後は議員の提言を始め、ワークショップで得た意見、各種団体等からのヒアリングをまとめ、後期計画を提示する。財政計画では事業効果、効率性等を検証し、徹底した経費の抑制、創意や工夫に

よって効果的な財政運営に努める。

問 就学以前の発達障がいを持つ幼児の施設

答 市長 二戸管内では社会福祉協議会が運営する発達支援センター風が通所による児童発達支援事業を行っており、利用者数や支援する専門職員の確保、財政負担等を考慮する

減少見込みを踏まえた持続可能な行財政運営という4つの新たな視点を加えることとした。11月25日から12月1日まで市民ワークショップを開催し、将来のまちづくりの方向性について意見交換を行った。今後は議員の提言を始め、ワークショップで得た意見、各種団体等からのヒアリングをまとめ、後期計画を提示する。財政計画では事業効果、効率性等を検証し、徹底した経費の抑制、創意や工夫に

よって効果的な財政運営に努める。

問 就学以前の発達障がいを持つ幼児の施設

答 市長 二戸管内では社会福祉協議会が運営する発達支援センター風が通所による児童発達支援事業を行っており、利用者数や支援する専門職員の確保、財政負担等を考慮する

よって効果的な財政運営に努める。

と、それぞれの市町村が設置することは難しいと考え

る。広域での設置について管内の福祉事業所や病院

行政等で組織する二戸地域自立支援協議会において検討を進めたい。

と、それぞれの市町村が設置することは難しいと考え

る。広域での設置について管内の福祉事業所や病院

行政等で組織する二戸地域自立支援協議会において検討を進めたい。

と、それぞれの市町村が設置することは難しいと考え

る。広域での設置について管内の福祉事業所や病院

行政等で組織する二戸地域自立支援協議会において検討を進めたい。

と、それぞれの市町村が設置することは難しいと考え

答 市長 漆の植栽について水はけがよく肥沃な土壌であれば1ヘクタール約千本の植栽ができ、仮に標準的な試算をすれば、跡地16ヘクタールで約3トン程度の生産量と推察されるが、跡地は自然環境が厳しく土壌改良の必要もあることから、事件の教訓を後世に伝える場所としたい。

と、それぞれの市町村が設置することは難しいと考え

る。広域での設置について管内の福祉事業所や病院

行政等で組織する二戸地域自立支援協議会において検討を進めたい。

と、それぞれの市町村が設置することは難しいと考え

る。広域での設置について管内の福祉事業所や病院

行政等で組織する二戸地域自立支援協議会において検討を進めたい。

と、それぞれの市町村が設置することは難しいと考え

る。広域での設置について管内の福祉事業所や病院

行政等で組織する二戸地域自立支援協議会において検討を進めたい。



次世代に繋げるためには長期的な取り組みが不可欠

議会活動の報告 (11月から1月)

- 11月6日
カシオペア連邦議会議員協議会役員会
- 11月10日
閉会中の議会運営委員会
議員全員協議会
会派代表者会議
- 11月13日
会派代表者会議
- 11月18日
会派代表者会議
- 11月25日
二戸市・三戸町・田子町議会議員協議会役員会
会派代表者会議
- 11月26日
閉会中の総務常任委員会
閉会中の文教福祉常任委員会
閉会中の産業建設常任委員会
閉会中の議会運営委員会
- 11月30日
議会運営委員会
令和2年11月臨時会
総務常任委員会
会派代表者会議

- 12月1日
議会運営委員会
- 12月3日～15日
令和2年12月定例会
- 12月8日
会派代表者会議
- 12月15日
議会運営委員会
議会改革検討委員会
議会改革推進協議会
- 12月21日
広聴広報委員会広報部会
- 1月13日
閉会中の文教福祉常任委員会
閉会中の議会運営委員会
- 1月15日
議会運営委員会
令和3年1月臨時会
議員全員協議会
会派代表者会議
市政調査会研修会
- 1月22日
議会改革検討委員会
- 1月25日
広聴広報委員会広報部会

令和2年11月 臨時会

令和2年11月30日に、令和2年11月臨時会が招集されました。前議長の議員辞職を受けた議長選挙は単記無記名投票で行われ、新議長に米田 誠 議員を選出しました。

- 選挙第1号 【議長選挙】
- 選挙第2号 【二戸地区広域行政事務組合議会議員補欠選挙】
- 選挙第3号 【岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙】

◀ 選挙結果 ▶

- 議長 当選 米田 誠 14票
無効票 3票
- 二戸地区広域行政事務組合議会議員 米田 誠 議長 (指名推選)
- 岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員 三浦 利章 議員 (指名推選)

議員全員協議会【定例】を開催

令和3年1月15日(金)、市議会議員全員協議会が開催されました。定例の議員全員協議会とは、議会自らが定例的に開催するもので、原則毎月15日(定例会開催月(3月、6月、9月、12月)及び2月、8月を除く)に開催しています。今回は当局より、第2次二戸市総合計画後期基本計画等について説明を受け、そのほか研修会では、市建設整備部 副部長 古山 淳夫 氏を講師として「下水道事業等の概要について」と題し、下水道事業の目的や決算概要、また市の汚水処理や安定したサービスの提供についての講演をいただきました。

ご意見箱

このコーナーでは、クイズにご応募いただいた皆さまから寄せられたご意見などをご紹介します。

コロナの中、市民は努力をしながら不況に耐えている中、今回の議長の不祥事は私欲の為に市民の信用をうらざり、二戸市のイメージダウンをさせ、強い怒りを覚えます。議員の方々気を引きしめ、二戸市がよりよくなるように頑張ってくださいと思います。(福岡・74歳 女性)

二戸市の現状やコロナウイルスへの取り組みなど様々わかりやすく掲載しているので、今後も読んで生活していきたいと思えます。(石切所・39歳 女性)

普段、議会で何が話されているかわからないので、大変勉強になりました。これからも、議会の内容を注視していきたいと思えます。(上斗米・35歳 女性)

高齢者の社会参加として、毎月近くのセンターでミニサロンに参加しています。コロナの影響で何回かは昼食を行わないで弁当を頂き帰ってきました。今月はセンターで食べ、体操の先生がいらして、ゲーム、恒例の景品付きどっぴきをして、1ヶ月分のたまりを笑い、楽しみ、すっきりした気分で帰ってきました。この事業をずっと継続していただける事が、我々の楽しみです。これからもお願いします。(浄法寺・78歳 女性)

二戸市の税金がどの様に使われたのかが決算の概要欄で良く分った。小中学校の冷房設置が、この岩手でも必要なのだと、この夏の暑さで感慨を深くした。この度の議員さんの起こした事件で議会にも風当たりが強いと思いますが、各々も綱紀の粛正を図って活動して戴きたいと思えます。(野々上・74歳 女性)

議長の考えられない事件での逮捕劇、二戸市民として恥ずかしい。議員の皆さん自分の行動、発言等二戸市民を代表として高い目的意識をもって行動してもらいたい。(金田一・67歳 男性)

令和3年1月 臨時会

令和3年1月15日に令和3年1月臨時会が招集され、市長より提出された議案3件が全員賛成で原案のとおり可決されました。

補正予算は、今後開始が見込まれている新型コロナウイルスのワクチン接種に必要な体制を確保するための事業費を追加しました。

- 議案第1号 公の施設の指定管理者の指定について(二戸市民文化会館)
指定管理者名：特定非営利活動法人二戸市文化振興協会
- 議案第2号 市道大萩野線道路災害復旧工事(2災37号)の請負契約の締結について
- 議案第3号 令和2年度二戸市一般会計補正予算(第11号) 補正額 1,576万円

市政調査会 研修会を開催

令和3年1月15日(金)、市政調査会主催の危機管理に関する研修会を開催しました。自衛隊岩手地方協力本部長の武本 康博氏より、「危機管理について」と題し、自衛隊の災害派遣などについて講演いただきました。研修会では自治体との認識共有や普段から訓練の場を作ることの重要性など多くのことを学びました。



〔講師〕自衛隊岩手地方協力本部長 1等陸佐 武本 康博氏

声のひろば

KOE NO HIROBA

笑顔がイチバン

浄法寺町樋田 和牛繁殖農家
すぎさわ けいいち
杉澤 圭一さん (40歳)



私が実家の家業を継ぐようになり、今年で15年になります。子供達も大きくなり、親として子供達の将来を考える事が多くなったように思います。子供達の笑顔の多さが、将来の二戸市の活気を作って行くと思っております。親が胸を張って町の事を素晴らしい町だと、子供達に誇りとして笑顔ある町だと、教え伝えられる事が大切な事のひとつであると感じます。かつて選択肢が幅広くあり、活気のあった二戸のスポーツ同様、将来の仕事選びの指針、これからの子供達にとって選択の幅を広く考えていけるまちづくりを願います。

このコーナーでは、市民の皆さまのまちづくりに対する思いを紹介し、掲載を希望する方は、お気軽に二戸市議会事務局へご連絡ください。

よーく読めば答えが見つかる！

議会だよりクイズ

下の●に当てはまる言葉を入れてください。

「令和2年度一般会計補正予算、
●●●● スクール推進事業の
(アルファベット4文字)
補正額は1,535万円です」

◆応募方法

クイズの答えと住所、氏名、年齢、**議会へのご意見や議会だよりを読んだ感想などを必ずご記入**のうえ、ハガキやファックス、電子メールにてご応募ください。正解者の中から抽選で5人に二戸市共通商品券1,000円分をお贈りします。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
※ご意見、感想等は議会だよりの紙面でご紹介させていただくことがありますのでご了承ください。(氏名非公開)

◆あて先

〒028-6192 二戸市福岡字川又47
二戸市議会事務局 議会だより係
FAX: 0195-23-1633 / メール: gikai@city.ninohe.iwate.jp

◆締切

令和3年3月19日(金) ※当日消印有効
(前回の答え…「令和元年度の一般会計歳出額は①⑥⑧億3,217万570円です」)

3月定例会を開催します



議会を傍聴してみませんか

今回の定例会は、2月22日(月)に開会の予定です。詳しい日程につきましては、二戸市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局までお問い合わせください。

本会議は当日の受付で傍聴できます。傍聴を希望する場合は、議会開催日に市役所3階へお越しください。車椅子をご利用の方も傍聴可能です。
また、市役所および浄法寺総合支所の1階ホールでは、テレビで議会中継を見ることができます。 ※12月定例会の傍聴者は、31人(延べ)でした。
(現在、新型コロナウイルス感染予防のためマスクの着用をお願いしています。)

委員	菅原恒雄
委員	高村人司
副会長	小田島行伸
部長	田口一男
【広報部会】	
委員長	内沢真申
委員	田口一男

(小田島 行伸 記)

この度の前議長の不祥事につきまして、大変遺憾であり、市民の皆様には深くお詫び申し上げます。今後は襟を正して、信頼回復に努める所存でございます。
昨年は二戸市が八幡平市と共同申請していた「奥南漆物語」が日本遺産に認定され、さらに「漆掻き」がユネスコ無形文化遺産登録の決定を受け、地域が守り育ててきた浄法寺漆に対する評価をいただいた年でした。
今後も更に気を引き締めて議会だよりをお届けしたいと思っております。

編集後記

二戸市議会のホームページ
二戸市議会のメールアドレス

<http://www.city.ninohe.lg.jp/info/2148>
gikai@city.ninohe.iwate.jp

右のQRコードからもホームページにアクセスできます→

